（大正十五年九月二十二日第三種郵便物認可）　昭和六年五月三十日　磐城新聞　〔土曜日〕　第三千百四十一號　〔一〕

夕刊
五月二十九日發行
定價 一部 金五錢 一ヶ月 金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料金 [illegible]
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

紙屑散見（5）

赤井嶽男

八八の先生 上

『時に近頃素晴らしい珍客が來ましてね』と同僚のA君が煙草の時間に廻轉椅子をクルリと此方へ向けながら始めた、A君の其の日の話はいい加減長いのであつたがここにはそれを與へられたる紙面に約めなければならない。

その珍客といふのは坂田金藏氏と謂つてA君の中學校時代の仲間であつた、中學卒業以來やがて三十年にもならうと云ふ月日はいつの間に流れたか不思議に一度も出會うた事も無ければ消息を通じ樣にも居所が知れぬので時偶思出す事はあつても實はもう生命の程さい覺束ないものに思ひ諦らめて居た、謂はゞ時効にかかり相な古い友達で夫れがA君の八八の先生だと云ふのである。

まだ神樂坂上に藁屋と謂ふ寄席のあつた時分の事である、その藁屋の少し上み手に播陽軒といつて其の頃の牛込邊の書生仲間でかなり通つた名の下宿屋があつた、坂田氏はその四疊半ではあるが牛床の附いた南受けの明るい一室を占領して衣食萬般中學生にはチト不相應に見ゆる位の氣樂な下宿生活をしてゐた、A君の家は江戸川向ふにあつて其頃は今と違つて中學生もやがて卒業間際になると生意氣盛りの同級生等のいい加減放縦な下宿屋生活がもの珍らしくも好もしくA君も一時は殆毎晩癖の樣に其の坂田氏の宿を訪ねて飽きもせず他愛の無い慢談に煙草の烟を籠らせたものだ、其の間にA君は坂田氏から八八の傳習を受けたのである下地のあつたものか間もなく斯道の堂に入つて技倆もをさ／＼師と伯仲といふ程になりよく二人の時はさし花を引いて寒い夜の夜更に餡掛け饂飩を奢られたり奢つたりしたものである、A君はそれが又後日仕事の上に何程役に立つたか知れぬと云つて居る、博奕打の心持を理解する上にも一度はゲームの陶醉境の味位は嘗めた者の方がヅブの無理解者に比して何程立勝つて居るか知れないと謂ふのが話の本筋を外れてA君の味噌であつた。

A君は坂田氏と共に又よく落語の寄席杯へも出掛けた、其の頃三福と云つて隨分邪道ではあつたが兎に角ズバ抜けて灰汁の强い夫れで又何處か飛放れたところが天才的とも謂ふべき落語家があつた、其の後この落語家は發狂して亡くなつたと云ふことであるが坂田氏は此の落語家がよく高座で一寸鼻の先で空氣を搖る樣な手附きをして上下の唇でパット雜音をさせながら影繪の狐の首を寫す時の樣な格好の手首をギクリとさせて握つた空氣を人に投げ付ける樣な仕業をするのを覺えて來て時折話の合の手に其の眞似をしてはよくパッパッと遣つたものだ

拈華微笑

平お天氣仙臺曇り、雨に淋代濡れ鼠。と行つた今日の飛行機

◇

あつて解り無くも納める。行つた來た程違ふ保護者會の二潮流

◇

赤み白みお好み次第。鰹と鯛と一緒にとれ出す

◇

『頓馬な目に遇はぬ樣』豊間の有志修港問題で大馬力

◇

食はねど高揚枝の矜持を敎へられぬ腹ぺこの先生還

茂吉先生

島田忠夫

○アララギ發行所に於て齋藤茂吉博士と會す

口ひげの白きまじふる茂吉先生かうべをかくし撫でて居給ふ

めづらしき島田忠夫が居る故に牛肉買ひて來とぞ告らせる

ねぎ買ひは誰か行きけむわが茂吉牛肉を煮ると先にたちつつ

新聞紙に穴をうがちて被たまへり牛の脂のあまり彈くに

名高き歌の博士をうち圍み牛喰ふ皆や新聞を著て

牛くさき匂ひ滿ちたる室内に歌の書物の堆きかも

學藝消息

赤井氏に深謝

齋藤昌武

過ぐる廿三日の貴紙夕刊に愚生の冊子『大學新聞街』に就て有難いお批評を戴き實に學生として身に餘る光榮で御座います、實はなつかしい學生々活も、人生の中ではきつと有意義なものに違ひない、それだから唯學窓時代のことを思ひ出に小冊子にでもつゞつてみたいと思つた無邪氣な動機があつたものですから遂にこんなものを編んでみた次第です、何事の完成にもその裏面にはきつとかゝすことの出來ぬ恩人のあることは事實でせうが私が新聞と云ふものに四年前初めて面白さを感じたのはこの赤井嶽男氏の好意氏がいはらき社在社中十分に負ふところがあつたからです、更に進んで喜多早大教授、更に又自分の兩親にも少くない心勞を願ひました、私は學生です故まだ／＼うんと勉强してのびねばなりません、自分が幾分でも心をくだいたと云ふ意味でこのつまらぬ著に而も有難いお批評を戴いて感謝の他御座いません地方紙の、美しく伸びゆくやうに祈りつゝ、御批評に感謝して

5月30日

△明治天皇東京に凱旋、征淸の役終り廣島大本營より還幸（明治二八）△北淸事變起る（同三三）△太宰春臺歿す、信州飯田の人、夙に徂徠の門に學び服部南郭山縣周南、安藤東野等と共に聲明あり（延享四）△ポープ歿す、英國の詩人及批評家也、諷刺熱罵に長ず（紀一、七四四）△大品經二帙八卷開板（正中二）△女傑ジャンダーク火刑（一、四三一）

時代警句（盆花）

○一人で吾が帶をしむる年頃になると一つ甕の下に育つた血筋の兄弟より他人の妻が可愛くなる……（寄生木）

○わが生んだ子であれば五人あれば五体の指三人あれば鼎の金、どれが惡いどれが可いと云ふ事はないけれども、世に次男三男ほど憫れなものはない……（同）

ラヂオ

…三十日〔土曜〕…

仙臺 JOHK

△前六、三〇 七、〇〇B ラヂオ體操
△八、四〇A 經濟市況
△九、〇〇 氣象通報
△九、〇五 經濟市況
△九、一〇 ローカル 料理獻立（ポーク、コロッケ）辰木ナカ
日用品値段（燃料）
△九、三〇 一〇、三〇A 經濟市況
△一〇、三〇 一一、〇〇 ローカル 洋裁講座（我國婦人の服裝に就ての所感並その裁縫）東北女史聯業學校敎諭渡邊すぎ
△一一、四〇A 經濟市況
△正午 時報
△後〇、〇五 〇、四〇B 吹奏樂 大阪ブラスバンド
△〇、四〇A 全國ニュース 河北新報社ニュース 氣象通報 告知事項
△一、〇〇 一、五〇A 經濟市況
△一、一〇 六、〇〇A 運動競技 雨天順延（春季六大學野球リーグ戰試合狀況）
△二、三〇A 經濟市況
△三、四〇 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A 全國ニュース 河北新報社ニュース
△五、三〇A 經濟市況
△五・四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇 六、三〇 ローカル（子供の時間）『子供の研究したお話三つ』仙臺市連坊小路小學校兒童
△六、三〇 七、〇〇A 英語講座（中等科）牧一
△七、〇〇A 全國ニュース 河北新報社ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、二五 七、五五A 趣味講座（振遠隊遠征遺聞）本山桂川
△八、〇〇 八、五〇A 放送舞臺劇（伊勢三郎）河竹默阿彌作
△八、五〇 九、一〇A 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項
△九、一〇 九、一五A 日米交換放送
△九、一五 九、三五 日本側放送（米國々歌…戸山學校軍樂隊、祝辭…駐日米國大使ウヰリアム・キャメロン・フォーブス、祝辭…子爵金子堅太郎、アメリカ幻想曲…戸山學校軍樂隊）
△九、三五 九、四五 米國側放送（管絃樂『未定』桑港放送局オーケストラ、バリトン獨唱、君ケ代）
△九、四五 一〇、〇〇 右終了後引續き米國大使並金子子爵の祝辭譯讀放送

一日一禪

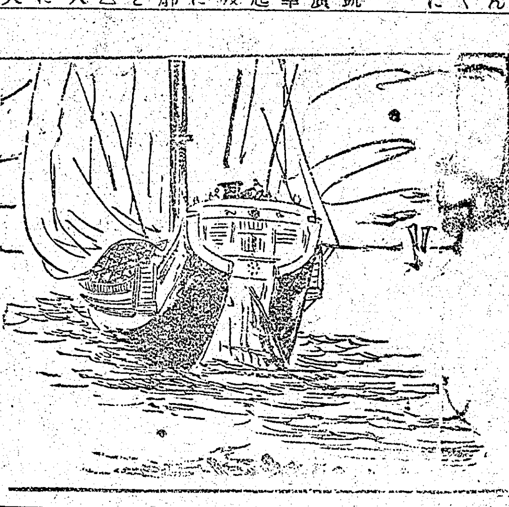
○
老僧不作留人意
看水看山白髮長

講談 元祿名妓傳

小邑井小巴演
（宮野恒彥畫）

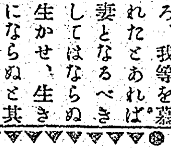
八十四席

鳴『女と云ふのはまへから分つて居る、早く引上て水を吐かせろ』竹『御難だなア、飛んだものが引つ掛りやアがつて、餘計な骨折りをさせやがる』遠州竹と云ふ小賊小言を言ひ／＼水死の女の死體を引上げ船べりへ腹這ひにさせ背中からウム／＼押付ける、スルト飲んでゐた水をガブ／＼と吐く 竹『お頭まだ幾らか溫かみがありますぜ』鳴『それ見ろ、何かの緣あればこそ我等の船へ打寄せたのだ、すつかり水が吐けたらば元船へ引上げて介抱しなくてはならぬ、兎も角此の舟は元へ返せ』竹『一人ぢやア手が足りませんや、是れはうつちやつて置いてカイの方へ廻りませう』鳴『ナニ／＼カイは我等があやつる！』竹『女と見て大層親切でげすね』鳴『ふざけた事を云ふな』と鳴右衛門自らカイを取つて漕ぎ、忽ち本せんへ着いたから外の手下も呼びおろして、共々死體を船上へ引上げました、段々手當を加へて見ると、是れが頗るの美人 ○『イヤたまげたなアこんな好い女をまだ生れて此の方見た事がねへ』△『さうだ、港々の色町で隨分遊女も澤山買ひ派手な遊びもして見たが是程の女にはまだ出合はない、息をふき返したが段々顔色が良くなつて來ると又一段美しくなるだらう可愛さうに何うして海の中へ飛込んだのかな』○『是りやア何でも男と二人で心中したものに違ひない、女は助かつたが男は好い案配に死んだのだらう』○『好い案配に死ぬとは變ぢやないか』△『何變なことがあるものか、死ぬと覺悟を極めた上は死ねた方が好い案配で生き殘つた方が業が盡きねへと云ふものだ、ダカラよ助かつて又斯んな所へ上げられ苦勞の種が出來ると云ふものだアッハ、ッ』と死人を前に置いて勝手なことを並べ、大騷ぎをして居ります餘り聲が高かつたし又どんな女であるか能く見ようと思つたのか、鳴右衛門も其場に來て見ると驚いた、此の死體の主は別人ならぬ小西屋の娘お房でございます、流石の鳴右衛門も。鳴『アッ』と云つて顔色を變へました、是れによつて見るとお房は鍋島家の龍神丸のせん中から斯の無男の鍋島爺千代の慰みものになり口惜さの餘り海中へ飛込み行衛も知れず相成つたのがこゝで鳴右衛門に助けられたのでございませう 鳴『此御婦人は貴樣達も聞いたであらう、小西屋の番頭善兵衛が尋ね廻つて居たお房と云ふ方、疎略があつてはならぬから丁寧に扱つてどうあつても助けろ、我等を慕つて家出をされたとあれば後々は我等の妻となるべきものだ、死なしてはならぬぞ、必ずとも生かせ、生きて口を利く樣にならぬと其罪は貴樣達にある、見苦しくない衣類をドン／＼出して來て寒くない樣に着せ、絹布の夜具蒲團の方へ寢せろ』イヤ最う大變な騷ぎ…一同の手下も始めて小西屋の娘と知つた、差圖の通り取扱ひを丁寧にする、四天王の小猿の留が小『えゝ頭』鳴『何んだ留』小『夜が明けては都合が惡うござ いやせう、向ふの容子を充分見屆けなくちやア…』鳴『それも然うだ、夜の引明けには彼れへ乘込む手順我等は最う往くのは見合せだ、何分お房の恢復が氣になつてならない、貴樣なら大丈夫だから、我に代つて見屆けて來てくれ』小『へェ宜しうございます』と小猿の留は一人の手下と共に出て行く 鳴『オ、忘れてゐた、お房の介抱には善兵衛を連れて來て呉れ、三内はどうした』と言つたが三内は縛られて物置 投込まれてゐるから出樣はない、一人が連れに船底へ降りました、嚥て取つて返し ○『お頭大變でございます、善兵衛もおつると云ふ娘も縛られて居ります』鳴『何ッ……』此時は夜の白む頃で海面が白けて行く……。



廣告

月やく
僅少の費用で月經止が早きは二日間で無害安全必ず流下す獨特の實驗
流經責任秘法
秘法を親切無料で敎へ升惱める方は切手添照會必ず滿足を得升
產兒制限
欲しいと思ふ時にのみ子を生め必要なき時は子を生むな病弱多產に經濟苦に惱む人は當所に來れ照會切手
（電話二〇五）
福島縣平町三丁目
產兒制限相談所
藥劑士 宇佐美友二郎



平町田町
安齋外科醫院
電四七五番

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

前田醫院
院長 前田淸美
植田町電話一二四

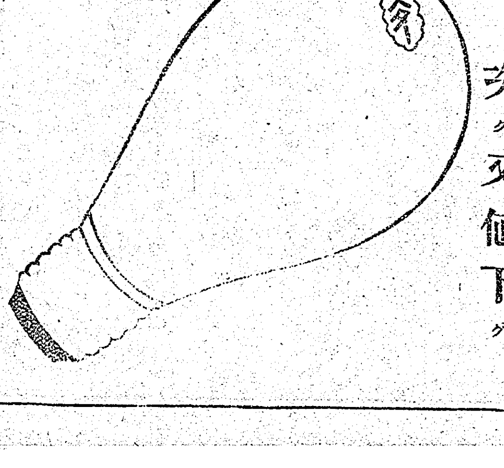
平町六丁目
木村醫院
電話三〇九番

內科、小兒科
外科一般、婦人科
外科、梅毒、淋疾
皮膚病
市原卯太郎
市原陸郎
市原三男
平町田町本通
市原醫院
（入院隨意）
電話一一四番

初夏のサロン
樽詰生ビールを召せ
カップ一杯十五錢
そして醉つたあとこの
冷たいアイスクリーム
も御座います……
一ヶ十五錢
田町 サロン
電話三五二番

平町田町
高久病院
（電話五一三番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽淸
藥劑士 佐竹菊雄
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

ガス入電球ノ値下ゲニ次グ又値下グ



十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三
大谷時計病院
眼鏡科
電話十九番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋
和洋銅物
(久)
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

夜間診療
胃腸
內科
十二指腸虫病
專門
內科部
梅毒
淋病
皮膚病
婦人病
專門
外科部
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

五月晴れの天遙けく
薰風を衝て進む雄姿
ア中尉の太平洋横斷飛行機
今廿九日午過ぎ平上空通過

アリユーシャン群島のダツチハーバー迄は最惡の條件でも航續し得ると云ふ確信の下に太平洋横斷を意氣込むアツシユ中尉のパシフイツク號は豫定の如く今二十九日午前十一時頃立川を出發したもの丶如く午後零時十二分皐月晴れの空高く薰風を切つて進む快音勇ましく平上空を通過し北方の空遠く機影を沒した

同機は今二十九日夕刻淋代に到着、同地で天候通報を受けて一泊の上明三十日早朝出發する豫定である、搭載ガソリンは千二十ガロンでプロムリー中尉の時と違つてゐるのは、ガソリンの搭載量增加と尾部車輪の裝置と排氣管の改造、ガソリンポムプ二個取付等である、この搭載ガソリンでは順航々續力でも四十時間弱で淋代、タコマ間は追ひ風の速風を受けなければ不可能と見られてゐるが、アツシユ氏は飛べるだけ飛ぶと云ふ凄まじい意氣込みであつたと

相互扶助を惡用して
會費納入を怠る
保護會の心遣ひに對し
一部父兄連の呑氣振り

平町小學校兒童保護者會の五年度收支決算は過般の理事會及保護者會に於て報告された外最近の『平の教育』紙上に發表されたが之れによると

區分	歲入	歲出
第一	三、八七〇	三、二二八
第二	四、〇五三	三、三五二
第三	二、三三七	二、〇〇四
合計	一〇、一八一	八、六二五

で差引今年度へ繰越千五百五十六圓(第一校六四二圓第二校六九〇圓第三校二二二圓)と云ふ成績で事業は比較的順調に推移しつゝあるが昨年度末現在の會費未納額は第一第二各二百圓臺第三校三百七十圓で即ち第一第二は兒童數多くして未納少く第三はそれと全然反對に兒童少くして未納多く其間或る種の消息を最も明瞭に物語つてゐる樣な事情から第三校に於ける保護者會の前途に對し果して圓滿なる收支を續けて行けるかどうかを懸念してゐる向がある、尙は保護者會の現況は會費負擔の容易ならざる階級にして感心にも規定の納入を怠らざる者あるに反し却て之に堪ゆる資力を有し乍ら其義務を果さぬ向あるやに傳へられ父兄間に左右の云爲が試みられてゐる

健康組合設置勸奬
映畫と講演會開催

縣では健康保險組合設置の趣旨を普及せしむる一端として工場內衛生に關し來月二、三の兩日左記場所に於いて映畫並に講演會を催す

平町新風景

女のシーズン
大脫線の危機を孕む
銀行四辻の誘惑

神谷の農試分場にストロリーの熟る頃。野も山も新綠に薇はれ人々は輕衣に身も輕々と過ぎて行く。冬の陰鬱さは思ひ出されもせず秋のうすら寒さは形ちもない、春の惱しさは何時しか消えて五月雨の空はカラツと晴れた初夏。

0

森羅萬象はわき目もふらずぐん〴〵生長して行く初夏、此れが人の心にどうして影響せずに置かうか況して況んや感受性の鋭い婦人に於て。殊に無暗に泣き度く惱り度く笑ひ度い婦人のシーズン(?)に於て!。

色とり〴〵に二丁目—三丁目—四丁目—驛前—へ街を行く婦人の晴々しい笑顏を見よ、凡てを征服し盡した傲慢な凱戰將軍のやうな誇りやかなその嬌態を。

0

これは突發的偶然な出來事ではなく每年初夏から夏には繰り返される人間生活否特に婦人の生活に於ける常態であります、而も何故に爾く瞬時に目まぐるしい變化と雜多な色彩の亂舞とが始まるのでせうか?。マルトモの店頭に立つて心臟の鼓動を高め乍ら雜誌セツクスの二三枚を大急行で讀んで見るのでした。

0

『太陽の光線中の紫外線が急に增加して其が生殖器に作用する刺戟となつて內分泌の作用が高まる爲性慾が興奮する』そうあつたから溜りやせんや。其夜彼れ——食に飢えた瘦犬の樣に每ばん女をあさり歩いてる——は銀行四つ角の露店の人だかりに態とアセチリンの光を避けて忍び寄つたんです。

0

さすり。握り。誘惑の小手調べはそうした夜の人だかりに於て多く行はれ勝ちです。而も婦人の脫線はロンブロゾーのこわいろを遣ふ迄もなく小酒井博士の研究を請け賣りする迄も無くその婦人のシーズン(?)で一番怖るべき危機を孕んでゐるんであります。髮の毛の長い若い男が息をはずませて後ろへ近づいた時は早速明るい處へ逃げなさい

0

銀行邊の夜のそゞろ歩きマア何と云ふ柔かなそして魅力のある聯想でせう、が併しそこには怖るべき誘惑の魔手が心からなる微笑を洩らしつゝ待つてゐるのを忘れてはなりません。

事となつた

△二日午後六時から赤井村で石城耐火煉瓦、磐城煉瓦株式會社第一、宮城耐火煉瓦各工場聯合で△三日內郷村越賀炭礦で

農業教育協議

石城郡第一區農業教育協議會は來月十二日午前十時菊多實業專修學校で開催されるが協議事項左の如し

一、議題、某校に於ける農業教育の施設經營の狀況

一、談話題、小學校補習學校の專任教員は如何なる範圍まで其町村の農業指導の任に當るべきか

景氣良い漁報に
七濱活氣づく
豐間の大敷で鯛三百貫
鰹も大体豐漁の豫想

石城の各濱では昨今漸く書き入れの漁期に近づいて來たので日一日活氣を帶び來つた折柄縣水產試驗場磐城丸が二十七日小名濱港に歸港し

鰹漁場は目下千葉縣野島岬沖南東十五カイリから二百七十カイリの海區で各縣探檢船は七、八百尾から一千尾を漁獲してゐるので本年は豐漁と認める

旨の景氣の良い情報を齎らし濱の子等を踴躍せしめたに次で豐間の大敷網では昨二十八日の夕網で鯛三百貫を漁獲し過般投網以來連日若干の漁獲を續けてゐる小名濱のそれと相俟つて石城の大敷漁業と鰹漁は愈々本格的に入つて來た。因に豐間で獲れた鯛の相場は濱取引二十割平市場二十七八割見當であると

磐城丸出動　二十七日小名濱に歸港した磐城丸は明三十日更に出動千葉縣沖合の探漁に從ふと

ピン長冷凍
海外へ輸出計劃

石城各濱では昨今ピン長漁の最盛期にあるが該漁を冷凍の上海外へ輸出して盛に好成績を收めつゝある他方面の實例に鑑み小名濱水產會及漁業組合では之れが輸出を計劃し目下熱心研究中であると

加澤氏の義擧　江名町消防組頭加澤一造氏は去月中平稅務署の稅務資料調查に際し盡力した廉により此程同署より表彰の金一封を贈られたが今二十九日平署に出頭し人事相談所の貧民救濟基本金として寄附採納方を願ひ出たと

豐間港一部修築
看板を塗り替えて
愈々近日中に着工

工費豫算二十三萬圓三ヶ年繼續事業と云ふ當初の計劃が之又お多聞に洩れず例の消極方針に祟られて一寸目當てがつかなくなつた豐間漁港修築問題は其後河岸を替へ農業水利事業の名目に看板を塗り變へて其筋の補助を受くべく過般來夫々劃策を進め既に勸業銀行より二萬圓の低利資金を借り入れる事に內定したが縣からの施行認可も愈々茲一兩日中に發せられる形勢となつたので右指令あり次第本年度に於ける三萬圓の修築事業に着手すべく準備が整つた

中堅農民講習に
新陣容を整ふ
郡下を七區に分ち
內部の統制を圖る

郡第四回中堅農民養成講習會は目下の處受講希望者約百餘名で近く授業を開始する筈であるが同會では新たに郡下を七區に分割し十四五人一組として各組に正副部長を置きその統制を圖る事となつた推薦された部長左の如し

第一區木村德治(大野、大浦)第二區高木靜政(鹿島、玉川、內郷)第三區鈴木三雄(平窪、赤井)第四區小野吉次郞(渡邊泉、勿來、植田)第五區伊澤忠雄(入遠野、上遠野、田人、川部、山田)第六區江尻喜三郞(草野飯野、神谷、好間)第七區木田太平(夏井、高久豐間)

俸給の遲延に泣く
郡下の小學教員
渡邊、勿來を筆頭に
窮乏甚しい十ケ町村

郡下各町村に於ける縣稅町村稅の滯納は近來一層その甚だしきを加へ各町村共之れが整理に頭痛鉢卷の態たらくで之れが爲教員の俸給不拂町村が續出しつゝある折柄之の上更に減俸となつては殆ど泣き面に蜂の憂き目に遇はねばならない。最近其筋で調査した不拂町村は渡邊村の四ケ月勿來町の三ケ月を筆頭に郡內十ケ町村は何れも一ケ月乃至三ケ月の不拂で曾ては納稅成績優良村として屢々其筋から表彰された內郷村の如きも其一であると

投槍

寄書歡迎

城山啓蒙生へ

◇今日の減俸は三割は愚か半額にしてもまだ高いのであります、生活の基礎となるものは米、味噌、野菜、肴、衣類等であります、五六年前より此れ等の物品は半額以下に相成つて居ります、又當平町の家賃は從來より一割より二割は優に下つて居ります、貴公が知らずに居るはずがありません

◇煙草酒は生活の基礎で有りません、郵便切手などは貴公等は恐らく一ヶ月に二三枚より使用して居らない筈です、其れから鐵道に乘車する用件などは每日有る物でありません、貴公は城山の人ですから鐵道に從事する人と思ひますが鐵道は只で乘車する人でせう

◇今日の平町商人は皆々生活に足りません、行商人などは一日十二時間以上働いて四五十錢位の收入より有りません、右樣なる不況にも拘らず給料取りの者共はやれ日曜日だ、やれ大祭日だと云つて一ヶ月を通じ廿日位より働かずして大平樂を極め込み農工者は如何程疲弊して居つても戰爭當時の高給を取つて國民の苦痛を顧り見ず自分等許り高給に安んずる事は此れ國賊と云はなければなりません

(平の憤慨行商人)

中の作修築
工事擴張可決

漁港修築豫算の計上から漏れた江名町中の作では他の方法で打開の策を講ずべく曩に石川博士の實地踏査を乞ひ既に夫々計劃する處あつたが縣費補助申請其他兎角初期の成果を收め得ぬので其後區民大會を開催し協議の結果いよ〳〵自力を以て修築する事に決し農漁山村救濟資金を借り受けて工事に着手し七月上旬頃落成の見込であるが右工事のみでは不徹底なので更に尙ほ八間の延長工事を實行すべく昨二十八日同町役場に有志會を開き滿場一致可決した

哀憐賦

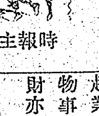
青春を誤つた
戀の無限軌道
宮の娘再た毒を服む

內郷村宮平太郞三一平町南町一九生れ經春娘無職涌井ハマ子(一九)は一昨二十八日午後二時頃自宅座敷で猫イラズを嚥下し自殺した、ハマは昨年五月頃から附近の青年と嬶虫を續け甘き快樂に耽つてゐる內之れを知つた嚴格な父から固く今後を訓戒され外出を禁じられてゐたが去る二十三日夜無斷外出し夜遲く歸宅したゝめ懇々其の不心得を諭され放埒の前非を悔ゐたのと妊娠三ケ月の身を苦にし地內水越藥店から密かに殺鼠劑を買ひ求め覺悟の自殺を遂げたものであると

五百兩を踏む
逃走酌婦搜查願

湯本町大字湯本字笠井四料理店長岡イセ方抱酌婦新潟縣北蒲原郡三條町西川內八篠田ムメ(二八)は昨二十八日午後八時頃前借五百餘圓を踏み倒して逃走今二十九日抱主から平署へ搜査方を願ひ出た

中等學校野球大會
時報主催



磐城時報社主催の第三回縣下中等學校野球大會は來月二十、二十一の兩日磐中グラウンドに於て開催される

明日の吉凶

舊暦四月十三日　新暦五月三十一日

▲一白の人　意志堅固にして直進すれば目的は達せらる▲二黑の人　奮發心を起せば効果大いに揚がるべしまよふは凶▲三碧の人　諸事進むはよろしからず分に安んぜよ病ひ注意▲四綠の人　心あせりをするのみにて物事進捗しがたき日なり▲五黃の人　運氣良好なれどもかる〴〵しき行動はつゝしむべし▲六白の人　積日の苦心も効果現はれ商談婚談整ふべし▲七赤の人　不覺をまねく日餘計な事に手出しをするな▲八白の人　幸運の日萬事進んで功あり起業開店普請吉▲九紫の人　物事手違ひを起しやすく散財亦多かるべき日

平町人事

△出生

堂の前十六草野村下神谷

前川原七富國寅五郎六女

美智子

▲死亡

田町六四田村郡夏井村臨

庭永志田七五常垣トメヨ

(三)

海事思想鼓吹
講演と映畫
鹿江少將が來郡
四倉植田平で開催

三笠艦保存後援會主催石城在郷軍人分會後援の海事思想鼓吹並に保存趣旨徹底の講演映畫會は來月十二日四倉町四倉座、十三日植田町小學校、十四日平第一小學校で開催されるが當日は海軍少將鹿江三郞氏の講演があると

品のヨイ
トビハナレてヤスイ文具
平マーケツト

廣告

お醬油は……ヤマフル
味噌　醬油
たひら正宗
鰹節　食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部一〇番　本店二七番)

開業
耳鼻、咽喉科、氣管、食道科、專門
平町南町(元眞木辯護士跡)
增田耳鼻咽喉科醫院
(入院隨意)

X光線科
外科專門
平南町
入院隨意(自炊の便あり)
病室完備
上田醫院
(電話一二九)

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平[illegible]五〇七番

大評判の新療法!
カイソネーチヤの偉力
海草蒸氣療法
諸病奏効百パーセント
事實は無言の雄辯
即時來院御實驗あれ
(特許中山式)カイソネーチヤ磐城分院
吉田五平
平町大町六(電話三七一番)

陸軍步兵中尉正七位荒川精一去五月廿五日午前三時廿分死去致候間此段御通知申上候

追て葬儀は來五月三十日午後二時自宅出棺泉藏院に於て佛式相營み申可候　敬具

昭和六年五月廿八日

男　荒川晃一

親族總代　荒川恒次郞

友人總代　山崎清三　諸橋久太郞　柴田德二　大平芳介　酒井喜代正　永山勇吉